**＜支援連携ツール　12月4日提示資料からの変更点＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 第1回ワーキング | 第2回（1月25日）提示 |
| 同意書  （資料１３） | ①本人の同意のもとで、本人が所持するものなので、同意書は不要ではないか。  ②同意書ではなく説明書でよいのではないか（法的な効力の発生を連想させる） | ①②内容を利用説明書と同意書の項に分け、内容を整理し、提示するようにした。 |
| 支援機関  一覧表  （資料１４） | ①右端の支援機関の利用「頻度」の項目の主旨が不明。 | ①「頻度」の項目を削除。  支援機関から他機関へ情報が共有されることについて、本人、家族、支援者への「同意書の確認」の欄を追加。 |
| 全体経過  （資料３） | 特に変更点なし。 |  |
| 基　礎　情　報  （資料４） | ①住所欄がない  ②障がい手帳の療育手帳の欄がない  ③保険関係の情報の追加  ④「傷病の経過」欄が医療情報に重なる  ⑤⑥その他 | ①項目を追加  ②項目を追加  ③「自立支援医療」、「労災」の項目の追加  ④削除  ⑤ジェノグラム欄のレイアウトの変更  ⑥記述式を減らし、チェック☑項目で回答。 |
| 医　療　情　報  （資料５） | ①保険情報（国保・社保・労災・生保）  ②初診日（高次脳に関する）  ③てんかん発作（頻度のみ記載）  ④身体状況（身長・体重） | ①自立支援追加  発症日（年齢）追加、生年月日（年齢）追加  ②高次脳原因疾患に関するに文言を変更  ③有無の記入欄に変更  ④測定日記入欄の追加 |
| 生　活　情　報　（資料６） | 「どんな生活をしたいのか」伝えられない人は記入できない。本人だけの意見や思いだけでの情報となる。  ・全体的に構成を変更 | ・「本人」「家族またはキーパーソン」と項目を作成した。また、同じ内容でまとめられるものを一括りにした。  ・趣味、好きなこと、得意なこと→「趣味・得意なこと」  ・嫌いなこと、苦手なこと→「嫌い・苦手なこと」  ・体調を崩す原因とその対処方法、配慮してほしいこと→「体調面・精神面などの留意点」  ・「してほしいこと」→削除  ・「その他、留意事項」→「その他」  ・「性格」→追加 |
| 就労情報・  職歴（資料７） | ①ハローワーク所在地なし  ②職業センター　職業評価の有無なし | ①ハローワーク所在地追加  ②職業センター　職業評価追加  ③「就労に向けての訓練や支援の経過」欄追加 |
| 検査情報（資料８） | 変更点なし |  |
| 全  体 | ①基礎情報に重なる項目が別情報にある。 | ①重複した項目でもシート上、必要であれば重複項目であることを★印で示す。 |
|  | | |
| アセスメントツール | 【チェックリスト（資料9）の変更点】  ・評価項目・内容を見直しし、評価しやすいよう文章の修正を行った。  ・障がい認識状況（気づき）について、チェック欄に説明を加えた。  【評価マニュアル（資料10）の変更点】  ・各評価項目の評価基準を見直しし、評価しやすいよう文章の修正を行った。  【補足情報（資料11）の変更点】  ・逆行健忘や強迫症状など、チェックリストに含まれていない状態を把握できるように、具体例を変更・追加した。  【ピラミッド（資料12）の変更点】  ・上記の修正点にともない、項目を変更した。 | |